

淑徳巣鴨高校 美子文会

「幅広い奉仕活動」

主な活動としては環境美化、地域行事補助、国際交流です。身近なものから普段はあまり関わりのない年齢や国を超えた交流などを幅広く行っています。

- **清掃活動**
学校付近をはじめ、遠方では海岸などの清掃
- **基金活動**
モロッコ地震 能登半島地震などへの被災地支援募金
- **行事活動**
七夕の日に笹を用意して、願い事を書いてもらうなどを通して学校全体の楽しい雰囲気を作り、盛り上げる
- **外国の方との交流会**
留学生との交流会ではお互いの国の文化を共有し、実際に体験してもらいながらの交流
- **子供交流会**
子供交流会では、あらかじめ美子文会のメンバーが幼児向けのダンスを練習して交流会当日に幼児たちと一緒に踊って楽しんだり、誕生日をお祝いしたり
- **迷子相談ボランティア**
上野動物園にて、子供の日で通常よりも子供が多く来場するイベントの日迷子の子どもの捜索したり、迷子防止札を配るなど迷子センターのお手伝い



「感恩奉仕」

淑徳巣鴨の校訓である「感恩奉仕(かんのんほうし)」を実践し、活動しています！

感恩奉仕(かんのんほうし)とは、物事をあたりまえと考えるのではなく自分を取り巻くすべての存在に感謝をする心を持ち、自身が身につけた能力を世の為、人の為に生かしていくことです。

私たち美子文会はそのような感恩奉仕の心を軸に様々なボランティアに取り組むことで社会への貢献を目指しています。



「国際交流」

前回行ったバンコクからの留学生との交流会では、お互いの国の文化を紹介し合うことで交流を深めました。折り紙、和楽器、縁日や浴衣など様々なコーナーを設け、留学生の人たちに日本の文化を実際に体験してもらいました。日本文化を伝える中でやはり言葉の壁というものがありました。簡単な英語やジェスチャーを織り交ぜながら意思疎通を図ることができました。

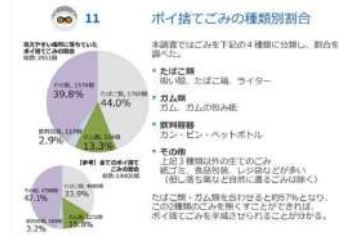
バンコクの方との初めての交流でしたが実際に接することで身近に感じるようになり、バンコクに関する事柄に興味を持ち始め、バンコクでの大きな事件や問題をメディアなどが取り上げているのを目にする比以前よりも「助けてほしい」という気持ちが強くなりました。

留学生との交流会では日本文化を体験してもらう中で様々な価値観に出会い、文化の違いを理解しながらその違いを認め合うことの大切さを改めて感じました。



「ポイ捨て問題」

清掃活動中に収集したゴミは主に使い終わったタバコやペットボトルで、また普段は気を留めていなかった大きなゴミも多く、例えば自転車や傘、車のシートなど多岐に渡る廃棄物が適に捨てられていました。東京都では2020年に路上喫煙防止条例が制定されたにも関わらず、以前と変わらずこのようにタバコが適に落ちています。



結果として条例だけで改善することは難しく、また清掃活動も範囲に限られている上に一時的な対応であるため、私たちは自主的にゴミを拾うだけでなくこの社会で暮らす一人ひとりの意識から変える必要があると考えられます。

グラフ参照：東京都2022年度のポイ捨てごみの回収状況(2022年度、2023年度、10月～「東京都2022年度ポイ捨てごみ回収状況」)

「美しい日本」

ポイ捨て問題の改善の第1歩としてこの問題について関心を持ってもらえる情報を発信していくことを今後の活動に取り込んでいき、美しい日本を実現させたいです。

また、国際交流では前回バンコクでしたが、この国に限らず様々な国の人と交流することがその国により関心を持つきっかけとなると考えます。そのためこれからも留学生との交流の機会を作っていくことを通して国際交流の壁をなくし、もっと身近なものにしていきたいです。そして社会で国際交流の場を増やし、多くの人に外国への関心を持ってもらうことで国際平和に繋がっていくことを願います。



活動団体プロフィール

美子文会は奉仕活動を目的に、昭和34年2月3日に生徒会活動として発足しました。その日を記念して、日付の3・4・2・3の数字を文字にして名付けました。現在は31名が在籍しており、発足から65年経った今もその意思を受け継ぎ続けています。